長

辺

経　歴　証　明　書

経　歴

従　事　期　間		従事した接続の工事の内容
年　月　日から 年　月　日まで	年　月　日間	
合　計		

上記のとおり相違ありません。

平成　　年　　月　　日

氏名（自筆で記入したときは押印を省略できる。）　　㊞

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成　　年　　月　　日

会　社　名

所　在　地

代表者役職名

代表者氏名（代表者が氏名を自筆で記入したときは、押印を省略できる。）　　㊞

短　　辺　　（日本工業規格Ａ列４番）

注１　経歴証明者は、接続の工事に従事した勤務先の証明を受けなければならない。

２　従事した接続の工事の内容は、別表第四号の実務経歴が容易に判別できるものであること。

３　従事期間は、次により計算した期間を記入すること。

⑴　従事した日から起算し、末日は終了しないときでも１日として算入する。

⑵　月又は年で定める従事期間は、暦に従つて計算し、月又は年の始めから起算しないときは、その期間は最後の月又は年における起算日に応当する日の前日をもつて満了する。ただし、最後の月又は年に応当日がないときは、その月の末日をもつて満了するものとする。

⑶　従事期間を計算するには、１月に満たない従事日数は、合算して 30 日になるときは１月とし、１年に満たない実務経験月数は、合算して 12 月になるときは１年とする。

４　従事した勤務先が異なるときは、それぞれの勤務先ごとに経歴証明書を作成すること。